

環境活動レポート



株式会社 那須商會

対象期間：2019年4月～2020年3月

発行日：2020年8月26日

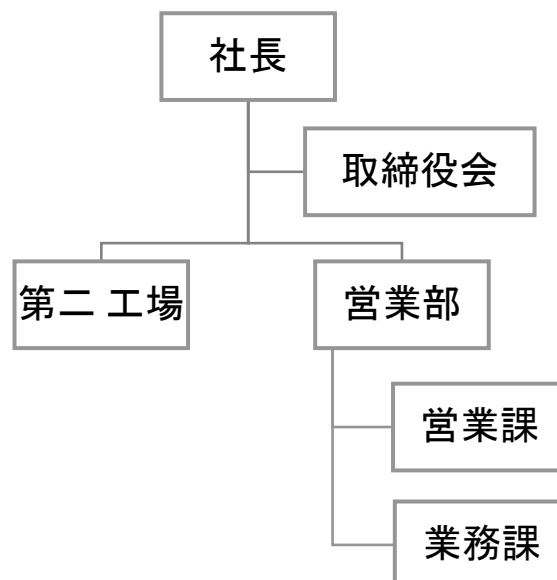
1. 組織の概要

- ① 事業所名 : 株式会社那須商会
代表者氏名 : 代表取締役那須吉宗
- ② 所在地
本社 : 東京都千代田区内幸町2-1-1飯野ビル
第二工場 : 東京都足立区入谷7-22-6
- ③ 環境管理責任者 : 石関真由美 TEL:03-3506-2927 FAX:03-3506-7775
及び担当者 Eメール:na@nasushoukai.co.jp
- ④ 事業活動の内容 : 一般廃棄物・産業廃棄物・古紙の収集運搬、産業廃棄物の中間処理
- ⑤ 事業の規模

	本社	第二工場
収集運搬量(t)		336
処分量(t)		336
従業員数(人)	6	11
敷地面積(坪)	9.724	134.0788

<情報公表項目>

- ⑥ 法人設立年月日 : 昭和58年4月1日
- ⑦ 資本金 : 1000万円
- ⑧ 売上高 : 20,368万円(H30年度)
- ⑨ 組織図 :



ア . 許可の内容

一般廃棄物収集運搬業				
区域	許可番号	許可年月日 及び有効期限	種類	運搬先
千代田区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設 及び株式会社アルフォ
中央区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
港区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
新宿区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
文京区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
台東区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
江東区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
目黒区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
大田区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
渋谷区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
板橋区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
足立区	第270号	平成31年2月1日 平成33年1月31日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
品川区	第270号	令和2年5月1日 令和4年4月30日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
墨田区	第270号	令和1年12月1日 令和3年11月30日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設
江戸川区	第270号	令和1年12月1日 令和3年11月30日	普通ゴミ	区長の指定する処理施設

産業廃棄物収集運搬業															
都・県	許可番号	許可年月日 及び有効期限	種類												
			汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
東京都	第13-10-017672号	令和元年6月1日 令和6年5月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【積替え保管施設】 積み替え保管面積：442㎡ 最大保管高さ：2.1m 保管量合計：17.56㎡															
埼玉県	01107017672	令和2年6月1日 令和6年5月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉県	第01200017672号	平成28年12月20日 平成33年10月24日					○	○	○			○	○	○	
神奈川県	01402017672	平成29年5月24日 令和4年5月9日	○				○	○	○	○	○	○	○	○	

※(水銀使用製品産業廃棄物を含む)

ア . 許可の内容【続き①】

特別管理産業廃棄物収集運搬業						
都・県	許可番号	許可年月日 及び有効期限	種類			
			廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）	廃酸（pH2.5以下のもの）	廃アルカリ（pH12.5以上のもの）	特定有害産業廃棄物 （廃石綿等 金属等を含む廃棄物（別表））
東京都	第13-57-017672号	平成28年2月27日 平成33年2月26日	○	○	○	○
神奈川県	第14-50-017672号	令和2年6月19日 令和7年6月18日	○	○	○	○

(別表)

産廃物の種類 金属等の名称	廃酸		廃アルカリ	
	東京都	神奈川県	東京都	神奈川県
アルキル水銀化合物	○		○	
水銀又はその他化合物	○	○	○	○
カドミウム又はその他化合物	○	○	○	○
鉛又はその他化合物	○	○	○	○
有機燐化合物	○	○	○	○
六価クロム化合物	○	○	○	○
砒素又はその化合物	○	○	○	○
シアン化合物			○	○
セレン又はその化合物	○		○	

ア . 許可の内容【続き②】

産業廃棄物処分量									
都・県	許可番号	許可年月日 及び有効期限	種類						
			廃プラスチック類※1	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず※2	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず※2
東京都	第13-20-017672号	平成29年10月15日 平成34年10月14日	○	○	○	○	○	○	○

※1(廃家電を除く)

※2(廃家電、廃乾電池及び廃蛍光管を除く)

イ . 施設等の状況

・ 運搬車両の種類と台数

用途	車種	台数
一般廃	2t車パッカー	2台
一般廃	2.6t車パッカー	1台
一般廃	2.95t車パッカー	1台
産業廃	2t車ダンプ	1台
産業廃	2t車アームロール	1台
産業廃	2.15t車パッカー	1台
産業廃	2.8t車パッカー	1台
産業廃	2.95t車バン	1台
産業廃	3.5t車キャブオーバー	2台
産業廃	3.35t車キャブオーバー	1台
産業廃	4t車キャブオーバー	2台
産業廃	4t車アームロール	1台
他、古紙	2.65t車電動パッカー	1台

・ 処理施設の種類(その1)

工場内 作業用	0.7tフォークリフト	1台
------------	-------------	----

・ 処理施設の種類(その2)

施設種類	産業廃棄物の種類	単独処理能力	混合処理能力	処理工程図
破砕	廃プラスチック類(廃家電を除く)	2.58(t/日)	5.62(t/日)	別紙、フロー図
	紙くず	3.44(t/日)		
	木くず	3.12(t/日)		
	繊維くず	2.99(t/日)		
	金属くず(廃家電、ビン及び廃蛍光灯を除く)	8.6(t/日)		
	ゴムくず	2.9(t/日)		
破砕	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃家電、ビン及び蛍光灯を除く)	9.7(t/日)		
破砕	廃プラスチック類(ペットボトルに限る)	1.28(t/日)	-----	
圧縮	金属くず(廃家電、廃乾電池及び廃蛍光灯を除く)	12.2(t/日)	-----	
溶融	廃プラスチック類(発泡スチロールに限る)	0.09(t/日)	-----	

ウ . 処理実績(R1年度)

収集運搬数量: 336t

中間処理数量: 336t

2 . 対象範囲

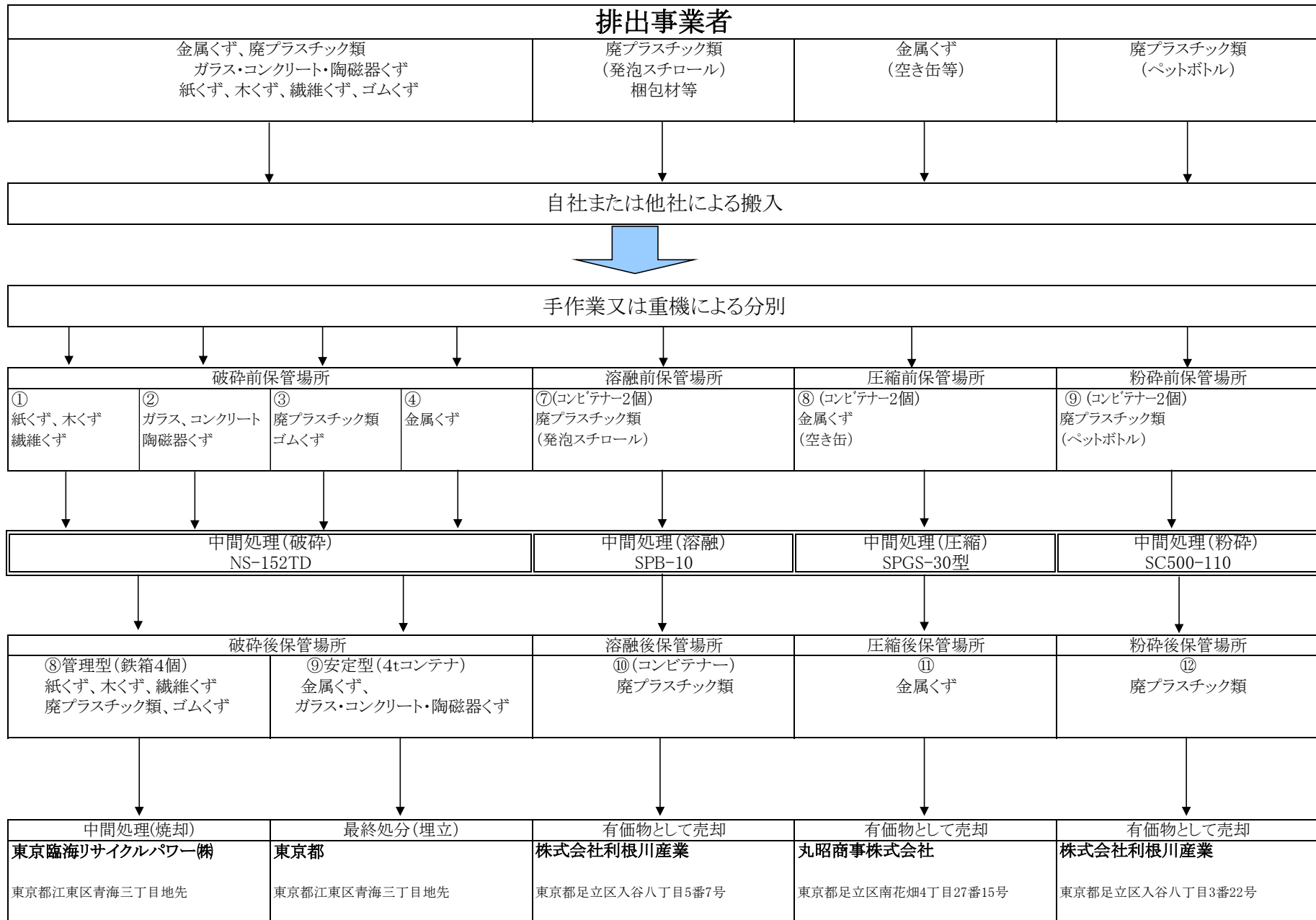
・ 登録組織名: 株式会社那須商会

・ 対象事業所:

[本 社] 東京都千代田区内幸町2-1-1飯野ビル

[第二工場] 東京都足立区入谷7-22-6

産業廃棄物中間処理フロー



3. 環境方針

環境方針

株式会社那須商会は、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物中間処理、資源再生及び清掃に関わる業務を行っており、良き企業市民として地球環境保全への対応を経営上の重要課題と認識し、循環型経済社会の実現に向けて、下記の基本方針に基づき、環境保全活動を推進する。

- (1) 事業活動に伴う環境への影響を把握し、汚染の予防に努めるとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善に努める。
- (2) 事業活動の推進に当たっては、環境関連法令、条例並びに当社が同意する協定等を順守する。
- (3) 環境保全活動の推進にあたり、下記項目を重点課題とする。
 - 1) 軽油使用量の削減
 - 2) リサイクルの推進
 - 3) 収集運搬における事故ゼロの維持
 - 4) 業務管理システムのIT化の推進

この環境方針は、当社社員及び当社のために働く全ての人に周知し、また、一般の人に公開する。

2011年1月8日
株式会社 那須商会
代表取締役社長 那須 吉宗

4. 環境目標・環境目標の実績

中長期目標

	2016年度 基準年度	2017年度	2018年度	2019年度	
1.二酸化炭素排出量削減					
・電気(本社)	kWh kg-CO2	3,484 1,742	△1%	△1.5%	△2%
・電気(第一工場)	kWh kg-CO2	不明 不明	実績把握	実績把握	
・電気(第二工場)	kWh kg-CO2	22,491 11,246	△1%	△1.5%	△2%
・軽油(トラック)	L kg-CO2	71,982 188,881	△1%	△1.5%	△2%
・CO2合計 kg-CO2		201,868	△1%	△1.5%	△2%
2.廃棄物排出量減					
・一廃		分別徹底	分別徹底	分別徹底	分別徹底
3.排水量削減					
・水道水の削減(本社)	m ³	26	△1%	△1.5%	△2%
・水道水の削減(第一工場)	m ³	不明	実績把握	実績把握	
・水道水の削減(第二工場)	m ³	230	△1%	△1.5%	△2%
4.グリーン購入	件数	不明	実績把握	実績把握	実績把握
5.低公害車両の比率の向上	%	33.3%	実績把握	実績把握	実績把握

※基準年度は、2016年4月～2017年3月

※電力のCO2排出係数は、H27年東京電力(株)実排出係数0.500kg-CO2/kWh

※軽油のCO2排出係数は、 $0.0687 \times 38.2 = 2.624\text{kg-CO2/L}$

※化学物質は使用していません。

第一工場は、30年1月閉鎖。

運用結果(2019年4月～2019年3月)

	2016年度 基準	2019年度 目標	2019年度 実績	目標達成 状況
1.二酸化炭素排出量削減				
・電気(本社) kWh	3,484	3,414	3,403	○
kg-CO2	1,742	1,707	1,702	
・電気(第二工場)※ kWh	28,477	28,477	24,164	○
kg-CO2	14,239	14,239	12,082	
・軽油(トラック) L	71,982	70,542	64,766	○
kg-CO2	188,521	184,749	169,622	
・CO2合計 kg-CO2	204,501	200,695	183,406	○
2.廃棄物排出量減				
・一廃	分別徹底	分別徹底	分別徹底	○
3.排水量削減				
・水道水の削減(本社) m ³	26.0	25.5	25.0	○
・水道水の削減(第二工場) m ³	230.0	230.0	345.5	×
4.グリーン購入 (エコ商品・Mグリーン含む) 【事務用品】 件数	不明	実績把握	46件	○
5.低公害車両の比率の向上 %	33.3%	実績把握	37.5%	○

○目標達成 △目標未達成但し基準年比減 ×目標未達成

※基準年度は、2016年4月～2017年3月 (・電気(第二工場)基準年度は、2018年度実績)

※電力のCO2排出係数は、2015(H27)年度東京電力(株)実排出係数0.500kg-CO2/kWh

※軽油のCO2排出係数は、0.06856 × 38.2 = 2.619kg-CO2/L

※化学物質は使用していません。

5. 環境活動計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出削減 【電気】 ①昼休みの消灯 ②空調と合わせて扇風機を使用 ③PC省エネ設定	・昼休み時に不必要なものは消灯した。 ・扇風機を増やして空調の温度に気を付けた。 ・PC設定完了。	継続して実施する。
二酸化炭素排出量削減 【軽油】 ①エコドライブの教育実施 ②車両定期点検・整備 ③タイヤエア圧点検 ④公共交通機関の利用	・「エコドライブ10のすすめ」で従業員に説明した。 ・車両点検・タイヤ空気圧点検は、実施し、車両毎に記録している。	継続して実施する。
一般廃棄物排出削減 ①分別の徹底 ②廃紙の資源化 ③裏紙の利用 ④コピー損紙削減	・両面コピー実施。 ・紙、ビン・缶・ペットボトル、ダンボール分類はEA21以前から取組んでいる。	継続して実施する。
水道水の削減 ①節水シールの貼り付け ②かけ流しの禁止	・流し等に節水ステッカーを付け周知に努めた。	継続して実施する。
事務用品のグリーン購入 ①発注時確認	・事務用品の購入時にecoマークがあるものを優先して購入するように心がけた。	継続して実施する。
低公害車両の比率の向上	・今までは、低公害車と意識せずに購入していたが、車両入替時には、低公害車を視野に入れ検討する。	継続して実施する。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規について、8月6日に順守評価を実施した結果、これらへの違反はありませんでした。
(文書・記録番号:EA-No.001)

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去三年間ありませんでした。

7. 代表による全体評価と見直しの結果

エコアクション21を導入したのは、この取り組みをすることによって、環境配慮の意識を高めること・社員一人一人の意欲向上を目的としています。さらに、経費節減も見込めるものと期待しています。

今回、目標達成できたものに対しては、継続すること、また未達成だったものは、目標数値の再検討や、再度社員全員に呼びかけ、エコ活動を高めるようにしていきます。

以 上